

令和 7 年度 まちづくり移動町長室 開催結果概要

百合が丘 3 丁目会館

日 時：令和 7 年 9 月 7 日(日)10：00～11:30

場 所：百合が丘 3 丁目会館

参加者：13 名（ほか地区長 4 名）

町の人口について

参加者	町の人口について、世帯数は増加しているとの説明があったが、人口と世帯数の関連データはあるか。人口減少は財政等に影響を及ぼす可能性があるが、町の人口増加等への取り組みは何か。
町長	世帯数は増加しているが、人口は微減している。また、取り組みとして、高齢世帯のみならず子育て世帯にも「終の棲家」として選んでいただけるようさまざまな団体と連携を深めていくことが重要であると考えている。

地域公共交通について

参加者	町と神奈川中央交通で行った会議の詳細と中長期計画について伺いたい。一色・緑が丘・百合が丘地区では地域公共交通の現状は深刻である。神奈川中央交通の経営状況は理解できるが、都心へ通う基盤が失われる可能性があり、危機感を持っている。
町長	神奈川中央交通は、県内の全自治体に対し、運転士不足に伴う、地域需要に即した持続可能なモビリティサービスのあり方を継続的に協議・検討したい旨の申し出を行った。町では議論を深めるため、地域公共交通協議会に幹事会を設置する。また、神奈川中央交通から乗降データをいただき、町で分析をしている。

参加者	地区にとって大きな問題であるため、会議の内容を公開し、住民を巻き込んだ議論をしてほしい。また、幹事会の出席者を教えていただきたい。
町長	これらは町と神奈川中央交通だけの問題ではない。神奈川県に申し入れし、広域の交通網として意見・情報交換をしたいと考えている。 なお、幹事会の出席者は、大学教授、神奈川中央交通、神奈川県タクシー協会、国、県、町政策部長、町都市部長である。
企画政策 担当参事	6 月に実施した地域公共交通協議会の中で、幹事会を設置し協議対象路線について集中して議論を行うこととなった。 幹事会で議論した内容は、協議会にフィードバックさせていただく予定である。

地域の担い手について

参加者	百合が丘地区では高齢化が進んでいる。広報紙等の配布に負担を感じている方も多くいるため、対策をお願いしたい。
町長	対策として配布物の数を減らすことや、広報紙のページ数を縮小することを行ってきた。また、ポスティング業者等へ委託することも検討したが、全世帯にポスティングされるのに 2～3 週間を要するなどの課題がある。 なお、必要な情報はしっかり届けられるよう、LINE 等の SNS やホームページを活用し、情報発信をしていくが、高齢者等の不慣れな方のことを踏まえるとデジタルと紙の併用を続ける必要がある。引き続き、配布の負担を軽減する方法を考えていかなければならない。

地域集会所の耐震化について

参加者	百合が丘地区には 1～3 丁目に会館があるが、耐震化できているか。
財産経営課長	1 丁目、2 丁目、3 丁目の会館は耐震性のある建物である。

町制施行 90 周年記念イベントについて

参加者	オリジナル演劇「二宮ミライ史物語」に一般の方が参加できることは良い。ただし、練習への参加費が必要であり、町の事業として自己負担があることに疑問を感じる。町負担も検討していただきたかった。
町長	この演劇は、町民活動団体の運営により実施することになったものである。 町民活動団体が主催し、企画・運営に演劇制作会社やプロの演出家も参加しているため、運営に必要な費用を含め、参加費の負担をいただくことになった。

イノシシ対策について

参加者	令和 6 年 5 月頃から住宅地にイノシシが出没するようになった。町に協力をいただき、令和 7 年 4 月から箱罾を設置し、3 頭のイノシシを捕獲した。 イノシシ対策は町と地区が協力していかなければならないと考えている。そのため、対策に対する予算の拡充をお願いしたい。
町長	今年度から地区で設置する広域防除柵の購入費補助を始めた。町もイノシシ対策に引き続き協力していく。

にのみや学園について

参加者	小中一貫教育であるにのみや学園が開校して 1 年が経過した。これまでを振り返り、状況を教えていただきたい。
町長	推進できたこととして、カリキュラムを作成する過程で、小・中学校の教員同士での児童・生徒がつまずきそうな内容の再認識ができ、9 年間の道筋が見えてきた部分である。また、小学生が中学生の部活動を見学するなど、いわゆる「中 1 ギャップ」と言われる急激な環境の変化になじめず、精神的な不安定さや困難が生じることを緩和できていると聞く。

庁舎移転について

参加者	庁舎移転に伴う現庁舎跡地の利活用について、現時点で決まっていることがあれば教えていただきたい。
町長	現時点でまだ何も決まっていない。現庁舎は都市計画法で制限される場所に位置しており、活用するにはハードルがある。
財産経営課	新庁舎・駅周辺公共施設再編計画に基づき、庁舎移転後、現庁舎跡地の活用をすみやかに検討する。

二宮町社会福祉協議会について

参加者	社会福祉協議会では「おたすけネット」と言われる生活支援ネットワーク事業を行っているが、11月頃に廃止されるのではないかと噂されている。この事業は高齢者の日常生活に関わることである。廃止された場合の影響や代替の施策は考えているか。
町長	「おたすけネット」は廃止の方向性であることを聞いている。ゴミ出しや通院の補助のために利用されているが、補助する方も高齢になりつつある。現状を踏まえると廃止せざるを得ないと判断したようだ。 町では高齢者のごみ出しサポートを始めている。必要な支援があるならば提案していただき、持続可能な制度を考えていきたい。なお、令和8年度からはタクシー券（要介護(要支援)高齢者移送サービス）は複数枚の利用ができるよう検討している。

打越川について

参加者	打越川に草木が生えている。近年の異常気象を考えると、防災の観点から伐採等していただき適切な管理をお願いしたい。
町長	葛川と同様に神奈川県とも連携して対応していきたい。
都市整備課	河床に関しては、県に対して、引き続き要望していく。

峠公園の隣接地の開発について

参加者	開発にあたり、以前は意見交換会が行われていたが、今回は町条例で示す開発地から30mの範囲に住んでいる方を対象にした事業者主催の説明会のみであった。 なぜ、意見交換会を開催していただけなかったのか。 また、開発期間中は通行等に一定の制限がされることが想定されるため、説明は必要ではないか。
政策部長	以前は事業者が所有している土地と町が所有している土地を交換した上で開発を行うこととなったため、町が関わる必要があった。 なお、その際の意見交換会は町と住民のみで行った。今回の開発は事業計画の一部変更があったものの、その延長という認識であるため、事業者が条例に沿った説明会を行うが、意見交換会は行う予定はない。

タクシー券の申請について

参加者	緑が丘に住んでいる方で、タクシー券を申請するため、役場へ伺ったものの、申請を受け付けてもらえなかったと聞いた。「役場まで来ることができた」「バス停まで徒歩で行けた」と言う理由で今回は申請を受け付けてもらえなかった。タクシーを利用したいから申請をしているが、そこまで厳しくする必要があるのか。
高齢介護課	本事業の趣旨として、自力歩行が難しい方に対し、外出機会の提供や通院する際の一助として、タクシー券を交付している。 タクシー券の交付は、本人の身体状況や歩行時の状況、介護度の有無等を聞き取り、また、認定調査時の内容等を確認し審査している。その結果、要件に合致すれば交付するが、申請いただく際の身体状況等により、交付ができないこともある。